きたかみしたぶんかきょうせいししん

北上市多文化共生指針

Kitakami City Guide for Multicultural Information and Assistance

～外国人（がいこくじん）と日本人（にほんじん）がお互（たが）いに
快適（かいてき）に暮（く）らすことができるまちを目指（めざ）して～

A policy for living comfortably in a multicultural community.

２０１６年（ねん）２月（がつ）

北上市（きたかみし）

表紙の絵「多文化の木」

作者　角掛　ダイアラ　グリーンさん（北上市立上野中学校３年）

この絵は、「子育て・教育」をテーマに開催した第５回多文化共生指針策定会議で発表者の北上市立上野中学校講師伊藤智江氏が紹介した絵で、平成27年５月にフィリピンから来日し、初めての日本生活で言葉や文化の壁をのりこえながら、同校で頑張っている中学校３年生の女子生徒が作成したものです。

一本の木に多種の果物が実をつけ、共存している様子から多文化共生を表しています。

この生徒は、これから先も日本で暮らしていくことを希望し、高校進学を目指しています。

ごあいさつ

私たちのまち北上市は、昔から多くの人が行き交う交通の要所として栄えてきました。

現在でも、展勝地や夏油高原スキー場など、多くの方に当市においでいただいておりますが、近年は特にも当市を訪れる外国人観光客が急増しています。

平成26年に当市で開催されたアジアマスターズ陸上競技選手権大会は、海外から約1,000人の選手・関係者の皆様をお迎えしました。この大会は世界各地の大都市で開催されており、当市のような人口規模の小さい自治体を会場に開催されることはまれで、当市にとっても初めて経験する国際大会でした。言語や文化が異なる外国人選手をお迎えするため、関係機関、市民の協力のもと準備を重ね、おもてなしあふれる大会運営で成功を収めることができました。

現在、北上市には、約400人の外国人が生活しています。言語や文化が異なる環境で、医療機関で受診する時、症状がうまく伝えられなくて困った、災害時に不安を感じるといった外国人住民の声を聞きます。

一方で日本人住民は、困っている外国人を見ても、どのように声をかけてよいかわからず、戸惑っているということがあるようです。

市内の日本人住民と外国人住民がお互いの言語や文化を理解しあって、交流を深め、気持ちよく快適に暮らしていくためにはどのように取り組むべきか、その方向性を示すため、北上市多文化共生指針をとりまとめました。

私たち市民一人ひとりがお互いの文化を理解しあい、地域社会を支える主体と

して共に生きていくという多文化共生社会をつくり上げていくことができるよう皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本指針の策定にあたり、貴重な御意見、御提言をいただきました市民の皆様をはじめ、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成28年2月

北上市長　髙　橋　敏　彦

もくじ

ページ

第１章　北上市多文化共生指針の策定にあたって・・・・・・・・・・・・6

１　策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

２　指針の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

３　対象期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

第２章　北上市の多文化共生に係るこれまでの取組の現状と課題・8

１　日本人のための取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

(1)　現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

(2)　課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

２　外国人のための取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

(1)　現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

(2)　課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

第３章　指針の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

１　基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

２　基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第４章　多文化共生指針の基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・12

第５章　多文化共生の推進のための施策・事業・・・・・・・・・・・・14

第６章　計画の進行管理・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・30
１　事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
２　各者の役割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
３　指針の推進体制と進捗状況の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
４　評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

資料編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
北上市多文化共生指針策定会議　概要　ゲスト発表者名簿・・・・・33
北上市多文化共生指針策定会議　開催経過　・・・・・・・・・・・・・・・35
北上市多文化共生指針策定会議での主な意見・・・・・・・・・・・・・・・37
岩手県内の大学生に対する多文化共生意識調査　概要・・・・・・・・39
外国人にやさしいまちづくり事業Ver.Ⅰ　概要　・・・・・・・・・・・・・42
国際都市推進きたかみ市民会議会則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
国際都市推進きたかみ市民会議役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・48
北上市多文化共生指針策定会議　策定チーム　参加者名簿　・・・・・・49

【多文化共生とは】

○国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

（平成18年３月　総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書～地域における多文化共生の推進に向けて」から）

○国籍や民族等のちがいにかかわらず、すべての人がお互いの文化的背景や考え方を理解し、地域社会を支える主体としてともに生きることです。

（平成27年３月　「岩手県多文化共生推進プラン（改訂版）」から）

第１回のワークショップで使用。『地球家族』1994 MATERIAL WORLD　ピーター・メンツェル

第１章　北上市多文化共生指針の策定にあたって

１　策定の趣旨

日本で暮らす外国人住民は、200万人を超え、近年急激に増加しています。

日本人の少子高齢化に伴う国内労働人口の減少や経済のグローバル化に伴う国内の雇用環境の変化により、外国人住民の定住化、永住化は今後も続くものと予想されます。

日本政府は、従来の「国際交流」「国際協力」を柱として推進してきた国際政策に「多文化共生」を３つ目の柱として位置づけ、平成18年に「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、地方自治体に対しては、地域の実情と特性を踏まえて、民間団体等との連携・協働により、多文化共生の推進に係る指針を策定するよう促しています。

現在、北上市内に約400人の外国人住民が生活しており、企業誘致等によりさらに増加する可能性があります。また、さくらまつりや夏油高原スキー場などに多くの外国人観光客が訪れています。

外国人は日本の言葉、文化が十分に理解できず、不安を抱え、日本人は外国人とどう接していいかわからず、どう受け止めたらよいか戸惑っています。

今後、ＩＬＣ(国際リニアコライダー)※の実現も見据えながら、外国人、日本人がお互いに理解しあい、より快適に生活していくためにはどうしたらよいのか考え、市として進むべき方向性を定めるため、北上市多文化共生指針を策定しました。

※　ＩＬＣ(国際リニアコライダー)…全長31kmから50kmの地下トンネルに建設される大規模研究施設。大型の線型加速器としては、世界最高・最先端の電子・陽電子衝突型加速器です。この施設が北上山地の地下100mの場所に建設される計画があります。

２　指針の位置づけ

北上市総合計画に定める多文化共生について取り組みの方向性を示すもの。

３　対 象 期間

平 成28年度から37年度(10カ 年)

※ 中 間 年である５年目で見直しを 行 います。

(参 考)

●外 国 人 住 民 登 録 者 数の推移

各 年12月 末 現 在(単位: 人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
北 上 市	499	435	447	453	424	459	420	419	380	414
岩 手 県	6, 472	6, 359	6, 404	6, 210	5, 942	5, 267	5, 298	5, 377	5, 621	5, 863

(岩手県「外 国 人 住 民 登 録 国 籍 ・ 市 町 村 別 人 員 調 査 表」)

第２章　北上市の多文化共生に係るこれまでの取組の現状と課題

当市では、これまで姉妹都市・友好都市交流、また、国際交流、外国人支援等を目的として平成８年に国際交流ルームを設置し、語学講座や困りごと相談等を実施しながら外国人住民が快適に生活することができるよう支援を続けており、また、日本人住民に対しても外国語講座や外国人を地域で受け入れるためにどうしたらよいかを学ぶための講座を開催するなど、多文化共生意識の醸成を行ってきました。また、平成26年に開催されたアジアマスターズ陸上競技選手権大会をきっかけに、公共施設の多言語表記を進めるとともに、民間事業所に対する北上市おでんせ多言語表記促進事業補助金の交付等、サービスの多言語化を進めてきました。

これまでの取組に係る成果と課題について次のとおり考えました。

１　日本人のための取組

(1)　現状

外国語講座（英語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語・フランス語・イタリア語）、外国人住民から学ぶ文化、料理、ダンス、スポーツ講座の開催（どんな国シリーズ等）、音楽が奏でる国際交流事業、ハロウィーンパーティー、姉妹都市・友好都市交流（ホームステイの受け入れ、訪問、交流事業の企画等）、インターナショナルスクール事業、遊・YOU学園祭、ワン・ワールド・フェスタなどを開催し、異文化理解を深めてきました。

出前講座で「外国人市民講座」のメニューを設定し、自治会等に出向いて説明し、外国人に対する理解を進めてきました。

(2)　課題

国際交流への認識は高まったものの、多文化共生、異文化理解について市民の意識が十分に高まっているとはいえない状況です。

（具体的には）

・言葉の壁がある。

・外国文化を理解する風土が十分に根付いていない。

・外国人に対する偏見が一部にある。

・何かしてあげたいが、どのように声をかけたらよいかわからない。

（市国際交流ルーム調べ）

2　外国人のための取組

(1)　現状

外国人相談、日本語指導、日本文化紹介・体験講座（フィールド・トリップ等）開催、日本語テキスト『いわての「生活」日本語』（平成23年）の発行、北上市ガイドマップ（英語・中国語・韓国語）作成、学校教育課が実施している学校生活における通訳支援等外国人が快適に生活できるよう支援をしてきま　した。また、「外国人にやさしいまちづくり事業ver. Ⅰ」やアジアマスターズ陸上競技選手権大会をきっかけに公共施設等の多言語表記を進めるとともに、民間事業所にも補助金を交付して、看板やパンフレットの多言語化を進めてきました。

(2)　課題

多言語化が十分に行き渡っているとはいえず、一部外国人住民は不便を感じています。また、日本語になじんでもらうためにふりがなをふるなどの配慮も不足しています。

（具体的には）

・買い物をする際、売場、品物が探せない。

・飲食店のメニューがすべて日本語で何を頼めばいいのかわからない。

・公共交通の利用の仕方がわからず困る。

・医療機関を受診した際、医師とコミュニケーションが取れずに困る。

・人と満足にコミュニケーションが取れずに孤独を感じる。

・公衆無線ＬＡＮの環境が整っていない場所が多い。

（市国際交流ルーム調べ）

（参考）

●市施設の多言語表記率及び市内の公衆無線ＬＡＮ環境整備状況

（平成27年12月末現在）

内容	状況	備考
市施設の多言語表記率	3.2%	156施設中５施設
市内の公衆無線ＬＡＮ環境整備状況		
市内宿泊施設	21施設	全35施設
市施設	１施設	生涯学習センターのみ

（市生涯学習文化課調べ）

第３章　指針の基本的な考え方

北上市多文化共生指針の策定にあたり、多文化共生指針策定会議、「外国人にやさしいまちづくりver. Ⅰ」での外国人住民からの意見、岩手県内の大学生への意識調査に基づき、基本理念と基本方針を次のとおり定めました。

１　基本理念

「外国人と日本人がお互いに快適に暮らすことができるまち」

２　基本方針

来訪外国人や来日間もない外国人は、慣れない環境で不便を感じることが多いので、公共施設案内表示やサービスを多言語表記します。

在住期間が長くなる外国人に対しては、日本語及び日本文化を積極的に習得し、日本の生活に溶け込んでもらうように支援します。

言語や文化の違いから日本人は先入観で外国人との関わりを敬遠してしまうことがあるので、子どものうちから外国語や異文化に接する機会を設けます。また、外国人受入研修会を開催して、外国人が特別な存在ではないことを理解し、地域で温かく受け入れられるようにします。

第４章　多文化共生指針の基本目標

この指針は、北上市総合計画に定める多文化共生について取り組みの方向性を示すものと位置づけ、北上市総合計画の政策の基本目標の項目ごとに指針の基本目標を定めました。

政策の基本目標１　子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり

指針の基本目標　言葉の違いがあっても、公平にサービスが受けられる環境をつくります。

政策の基本目標２　生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり

指針の基本目標　子どものうちから外国語、多文化に親しむ機会を設けます。

政策の基本目標３　ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり

指針の基本目標　外国人と日本人が交流する機会をつくり、相互理解を促進します。

政策の基本目標４　美しい環境と心を守り育てるまちづくり

指針の基本目標　当市の美しい環境を守り、安心・安全な地域社会を構築します。

政策の基本目標５　誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり

指針の基本目標　災害時を中心に命を守る情報を等しく提供できるように取り組みます。

政策の基本目標６　市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり

指針の基本目標　外国人、日本人双方が課題を持ち寄り、より快適に生活できる環境を創造します。

第５章　多文化共生の推進のための施策・事業

北上市の多文化共生推進にあたり、基本目標ごとに関連する施策・事業及び活動指標を定めました。市役所関係各課の取り組みの他、関係する民間事業所等にも協力を働きかけていきます。

基本目標１　言葉の違いがあっても、公平にサービスが受けられる環境を作ります。

事業１　外国人転入者に対する生活相談

（主体　市、国際交流協会）

国際交流ルームの存在が多くの人に認知され、外国人住民のみならず、これまでどこへ相談したらよいかわからなかった日本人住民からの相談の増加が考えられます。

事業２　子育て、医療・福祉等サービスの多言語、ひらがな表記での情報提供

（主体　市）

市が発行する外国人住民が読む可能性のある公用文書については、わかりやすい表記（多言語・ひらがな）を増やし、確実に内容が伝えられるようにします。

事業３　外国人が医療機関を受診しやすくするための環境整備

（主体　民間、市）　新規

症状をうまく伝えられないために医療機関を受診しないということを避けるため、外国語対応可能な医療機関の情報提供、通訳の養成・派遣などの環境整備を行います。

事業４　公共施設の案内表示等の多言語表記の推進

（主体　市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。

事業５　民間施設の多言語表記の推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）を活用して民間事業所が案内看板等及びサービスの多言語化を推進します。

基本目標１の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	外国人相談件数（国際交流ルーム扱い分）	121	140	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
2	市公用文書のひらがな表記率（外国人あての文書に限る）	－	100%	
3	医療機関外国人受入環境整備	－	実施	
4	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
5	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.1末現在）を使用。

基本目標１の成果指標

市公用文書のひらがな表記率（外国人あての文書に限る）　100%（平成32年度）

基本目標２　子どものうちから外国語、多文化に親しむ機会を設けます。

事業１　ＡＬＴ（外国語指導助手）の配置、通訳支援事業の実施

（主体　市）

国際的に活躍する人材を育成するためＡＬＴ（外国語指導助手）派遣環境を充実します。

事業２　インターナショナルスクールの開催

（主体　市、国際交流協会）

国際的に活躍する人材を育成するため語学とともに外国文化に触れる機会を充実します。

事業３　文化施設、教育施設案内看板等の多言語表記の推進

（主体　市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。

事業４　外国人の地域活動参加への助成

（主体　自治会等、市）　新規

自治会等が行う外国人住民との交流を深める活動、防災訓練、外国文化を理解するための講演会開催などの取組に対して、その取組を多文化共生事業費補助金交付により助成します。

事業５　外国語講座、日本語講座

（主体　市、国際交流協会）

日本人が外国人との交流を深められるように外国語講座を、外国人が日本の生活になじむことができるように日本語講座を実施します。外国語講座はスペイン語、中国語、英語等を実施します。

事業６　姉妹都市、友好都市交流の推進

（主体　市）

姉妹都市のアメリカ・コンコード市、友好都市の中国・三門峡市との交流を継続します。

基本目標２の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ＡＬＴ(外国語指導助手)による、各学級あたりの年間国際理解教育の授業回数 小学校/中学校	10/12回	30/30回	
2	インターナショナルスクール事業参加者数	94人	100人	H27から開催のため、実績値はH27年度を使用。
3	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
4	北上市多文化共生事業費補助金(多文化共生)交付件数	－	2件	
5	外国語講座開催回数 日本語講座開催回数	47回 59回	52回 70回	
6	姉妹都市・友好都市交流	継続	継続	

基本目標２の成果指標

インターナショナルスクール事業参加者数　100人（平成32年度）

平成27年度インターナショナルスクール事業の様子

基本目標３　外国人と日本人が交流する機会をつくり、相互理解を促進します。

事業１　観光施設案内看板・パンフレット等の多言語表記

（主体　民間、市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施するとともに、北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語化を推進します。

事業２　インターナショナルスクール卒業生を活用した観光案内の実施

（主体　市）　新規

平成27年度から開講しているインターナショナルスクールの卒業生の成果発表の場として、また、年々増加する外国人にお
もてなしの気持ちを伝えるため、さくらまつりなどのイベントでの観光案内ボランティアを行います。

事業３　民間事業所に対する北上市多文化共生事業費補助金（看板等の多言語化・無料公衆無線ＬＡＮ整備）の交付

（主体　市）

民間事業所が実施する案内看板等の多言語化、外国人の要望が多い無料公衆無線ＬＡＮ環境の整備に対して、北上市多文化共生事業費補助金を交付します。

事業４　外国人労働者を雇用する企業と関係機関の連携

（主体　民間、市）

外国人労働者雇用に伴う課題が生じた際に外国人労働者を雇用する企業と市、県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を検討します。

事業５　ワン・ワールド・フェスタの開催

（主体　国際都市推進きたかみ市民会議）

平成25年度から開催しているワン・ワールド・フェスタを継続開催し、多文化理解を進めます。

事業６　免税店の整備などインバウンド対策の実施

（主体　民間、市）　新規

北上市を訪れる外国人が利用する免税店を整備する来訪外国人旅行者の利便性向上を図ります。

基本目標３の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	市施設の多言語表記率 北上市多文化共生事業費補助金(多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備)交付件数	3.2% ３件	10.0% ３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27(H28.1末現在)を使用。
2	さくらまつり観光案内ボランティア数(期間中延べ)	－	10人	スクールはH27から開講のため、実績値なし。
3	北上市多文化共生事業費補助金(多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備)交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27(H28.1末現在)を使用。
4	企業と関係機関の連携	実施	実施	
5	ワン・ワールド・フェスタの開催	実施	実施	
6	インバウンド対策の実施	－	実施	

基本目標３の成果指標

ワン・ワールド・フェスタの開催　継続（平成32年度）

平成27年度のワン・ワールド・フェスタの様子

基本目標４　当市の美しい環境を守り、安心・安全な地域社会を構築します。

事業１　外国人のごみ出し方法の理解促進

（主体　市）

ごみの分け方、出し方の多言語版を発行、配布し、ルールを徹底します。

事業２　外国人の防災訓練への参加誘導

（主体　自治会等、市）新規

災害弱者となりやすい外国人住民に地域等の防災訓練へ参加してもらい、災害時に備えます。

事業３　外国人住民相談の実施

（主体　市、国際交流協会）

今後も増加が見込まれる外国人住民からの相談に対応します。

基本目標４の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ごみの分け方・出し方ポスターの多言語版発行	実施	実施	
2	各自主防災組織等での外国人を含む防災訓練の実施回数	－	16回	
3	外国人相談件数(市国際交流ルーム扱い分)	121件	140件	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。

基本目標４の成果指標

各自主防災組織等での外国人を含む防災訓練の実施回数　16回(平成32年度)

基本目標５　災害時を中心に命を守る情報を等しく提供できるように取り組みます。

事業１　市ホームページ多言語化の推進

（主体　市）

平成26年度に多言語対応となった市のホームページの活用を促すとともに、利用者の要望に応えて見直します。

事業２　市所管施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進

（主体　市）新規

外国人の来訪が多い公共施設の無料公衆無線ＬＡＮ環境の整備を実施します。

事業３　民間施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が外国人から要望が多い無料公衆無線　ＬＡＮ環境の整備を推進します。

事業４　公共交通に係る多言語化推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語化を推進します。

事業５　災害時の外国人に対する情報提供体制の整備

（主体　市）　新規

災害弱者となりやすい外国人住民に対して防災情報提供の体制を整えます。

基本目標５の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	市ホームページ多言語化の継続	実施	実施	
2	市所管施設の公衆無線ＬＡＮ環境を整備	－	実施	
3	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.１末現在）を使用。
4	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備））交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.１末現在）を使用。
5	多言語防災マニュアルの作成・配布	－	実施	

基本目標５の成果指標

多言語防災マニュアルの作成・配布　実施（平成32年度）

基本目標６　外国人、日本人双方が課題を持ち寄り、より快適に生活できる環境を創造します。

事業１　国際交流ルームの活用

（主体　外国人住民、日本人住民）

国際交流ルームが外国人住民、日本人住民に多く認知され、国際交流の拠点として多くの人が来館します。

事業２　国際都市推進きたかみ市民会議※との連携

（主体　国際都市推進きたかみ市民会議、市）

北上市の国際化推進のために設立された同会議と連携し、多文化共生指針施策の進捗状況を把握し、必要な対応を検討します。

※国際都市推進きたかみ市民会議…北上市が国籍や民族を問わず、誰にもやさしく、暮らしやすく、そして、訪れても快適な多文化共生の国際都市に成長していくため、地域の国際化推進方針を定め、市民や各種団体等が情報を共有・連携しながら、協働でその実現に向け活動することを目的とする。（国際都市推進きたかみ市民会議会則から）

事業３　出前講座（外国人市民受入講座）の実施

（主体　自治会等、民間、市）

日本人住民が外国人を受け入れる際の心構えなどを学び、異文化を理解しながら、地域で外国人を受け入れる体制を整えます。

事業４　国際交流・通訳ボランティアの養成

（主体　市、国際交流協会）

インターナショナルスクールの開催などにより、外国人観光客、姉妹都市・友好都市訪問団の受け入れ時のおもてなしの際に活動する国際交流・通訳ボランティアを養成します。

事業５　外国人労働者、企業と関係機関との連携

（主体　外国人住民、民間、市など）

外国人労働者雇用にともなう課題が生じた際に、外国人労働者を雇用する企業と市、県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を検討します。

事業６　県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携

（主体　県、市町村、各国際交流協会など）

外国人住民に対する取組について、他市町村や県及び関係機関とその取組を共有するとともに、外国人住民の意見も聞きながら、課題など様々な情報交換ができる場が必要と思われるので、連携を呼びかけていきます。

基本目標６の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	国際交流ルーム来館者数	4,415人	4,700人	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
2	国際都市推進きたかみ市民会議との連携	実施	実施	
3	出前講座（外国人市民受入講座）利用回数	0件	10件	H27から実施のため、実績値はH27を使用。
4	国際交流・通訳ボランティア登録者数（法人登録含む）	132人	170人	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
5	外国人労働者、企業と関係機関との連携	実施	実施	
6	県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携	実施	実施	

基本目標６の成果指標

県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携　継続（平成32年度）

第６章　計画の進行管理

１　事業の実施

北上市多文化共生指針に基づき、各実施主体が事業を実施します。

２　各者の役割

市……北上市多文化共生指針に基づき施策を展開するとともに市民、民間事業所への協力を求めます。

日本人住民・自治会等…出前講座や研修会などを活用し、異文化理解を深めながら、外国人を受け入れます。

外国人住民……日本語習得、日本文化の理解を深めながら、日本での生活に溶け込むように努めます。

民間事業所……案内看板等やサービスの多言語化、無料公衆無線ＬＡＮ整備等により外国人受け入れ環境を整えます。

３　指針の推進体制と進捗状況の把握

北上市まちづくり部生涯学習文化課が事務局となり、多文化共生指針の周知、取組を促すとともに、取組状況を把握します。毎年の取組状況を国際都市推進きたかみ市民会議に報告し、同会議からの意見を参考にしながら、その後の取組に反映させます。

４　評価

多文化共生指針に基づく施策の展開に係る評価については、各施策・事業ごとに定める活動指標の進捗状況を毎年確認するとともに、市が隔年で実施している「北上市の施策に関する市民意識調査」の満足度により行います。

評価指標　**北上市の施策に関する市民意識調査（平成26年度実施）における施策ごと満足度向上　「芸術文化の振興・国際交流の推進」**

4.152（平成26年度調査）→ 4.27（平成32年度目標）

※4.27の積算根拠　平成26年度に実施した「北上市の施策に関する市民意識調査」の施策別の平均満足度の最高点4.264（施策名「スポーツの振興」）を上回るように設定した。

資料編

【多文化共生指針策定会議】

概要

平成27年7月から12月まで毎月1回、計6回の会議を開催しました。この会議の大きな特長は幅広い意見交換を行うために、外国人住民、市役所関係各課の職員、各テーマの関連企業、団体、自治組織、一般市民が策定会議のメンバー(参加者名簿49-50ページ)となりました。毎回各テーブルに違う立場の人が話し合いができるようにグループを配置し、ワークショップ形式で会議を進めました。このワークショップのテーマは「ごみ」「交通・観光」「防災」「医療・福祉」「子育て・教育」「先進事例から学ぶ」という生活していく上で身近なものを取り入れました。

また、各回「フォトランゲージ・地球家族」「アジアマスターズから学んだもの」「避難所のストーブ」「レヌカの学び」「外国につながる子どもの教育とその課題」「北上市の基本目標と多文化共生指針概要案との整合性」についての体験型ワークショップを行いました。各グループに外国人が入り、日本人が外国人の気持ちや考え方を理解できるような工夫をしました。ゲストのシカゴ大学スコット・アルガード氏にはカナダと日本の医療制度の違いを学び、また、岩手大学准教授松岡洋子氏には日本語指導の必要性の判断についてご指導いただきました。

北上市多文化共生指針策定会議　策定チーム　ゲスト発表者名簿

（会議開催順、敬称略）

（株）マルサ	営業課	高橋　福雄
（有）マルサ商会	所長	髙橋　美春
水神温泉　山照園	取締役専務	菊池　勝
岩手県立中部病院	地域医療福祉連携室長	星野　彰
岩手県立中部病院	連携コーディネーター	鈴木　弘子
シカゴ大学	東アジア研究学研究者	スコット・アルガード
（公財）岩手県国際交流協会	事務局次長	宮　順子
岩手大学　グローバル教育センター	准教授	松岡　洋子
北上市立上野中学校	講師	伊藤　智江

きたかみし　たぶんか　きょうせい　ししん　さくてい　かいぎ　かいさい　けいか

テーマ	かいさいび	ないよう	ワークショップ	さんかしゃ	がいこくじんじゅうみん
テーマ① 『ごみ』	7/7 (か) 13:30 ～ 15:30	【じれい しょうかい】 (ゆうげんがいしゃ)マルサしょうかい しょちょう たかはし みはる さん (かぶしきがいしゃ)マルサ えいぎょうか たかはし よしお さん 【きたかみし たんとうか からのほうこく】 せいかつかんきょうぶ クリーンすいしんか しゅにん おいかわ たかまさ さん 【がいこくじん じゅうみん からの はっぴょう】 きくち こう さん (ちゅうごく)	フォトランゲージ 「ちきゅう かぞく」 ①せかいの せいかつ いるもの ・ いらない もの ②がいこくでの ゴミ だしは どうする？	29 めい (うち ししょくいん: 10 めい) がいこくじん じょせい: 2 めい じょせい: 14 めい だんせい: 11 めい ちゅうがくせい: 2 めい	ちゅうごく たいわん
テーマ② 『こうつう・かんこう』	8/24 (げつ) 13:30 ～ 15:30	【じれい しょうかい】 みずかみ おんせん さんしょうえん きくち まさる さん 【きたかみし たんとうか からのほうこく】 しょうぎょうかんこう か かちょう おいかわ かつひこ さん 【がいこくじん じゅうみん からの はっぴょう】 まえはら ゆう さん(たいわん)	こうつうや かんこうの あんないを ちゅうしんに かんがえる ①いちじてきな りょこうしゃ への たいおう きんせん・ しゅくはく・ こうつう あんない・ かんこう あんない・ かいもの ②せいかつしゃ への たいおう えき・ ちいき・ がっこう・ かんこうち・ きぎょう	31 めい (うち ししょくいん: 9 めい) がいこくじん: 5 めい じょせい: 12 めい だんせい: 14 めい	かんこく ちゅうごく たいわん アメリカ
テーマ③ 『ぼうさい』	9/15 (か) 13:30 ～ 15:30	【じれい しょうかい】 ぼうさいし について しずがみ ひろし さん 【きたかみし たんとうか からのほうこく】 しょうぼう ぼうさい か かかりちょう かねこ ゆきひろ さん	ワークショップ 「ひなんじょのストーブ」 ①シナリオを よんだ かんそうを はり だす ②どうすれば まさつや トラブルを ふせぐ ことができるかを グループで はなしあい はっぴょう する	26 めい (うち ししょくいん: 8 めい) がいこくじん じょせい: 4 めい じょせい: 13 めい だんせい: 9 めい	かんこく ちゅうごく たいわん

テーマ④ 『いりょう・ふくし』	10/14 （すい） 13:30 ～ 15:30	【げんじょう ほうこく】 いわて けんりつ ちゅうぶ びょういん ちいき いりょう ふくし れんけいしつ れんけいしつちょう ほしの あきら さん れんけい コーディネーター すずき ひろこ さん 【こうえん】 いりょうを かんがえて ～ にほんの かだい、 カナダの かだい ～ スコット・アルガード さん （シカゴ だいがく） 【きたかみし たんとうか からの ほうこく】 けんこう ふくしぶ けんこう ぞうしん か かかりちょう さとう かがり さん	ワークショップ 「レヌカの まなび」 いりょう ・ ふくし に かんする ことで、 たぶんかきょうせいの かんてんで「おもいこみ」は ない だろうか。 また、 どんな「おもいこみ」がでて くるだろうか。	32 めい （うち ししょくいん: 6 めい） がいこくじん: 6 めい じょせい: 14 めい だんせい: 11 めい こ: 1 めい	かんこく ちゅうごく たいわん カナダ
テーマ⑤ 『こそだて・きょういく』	11/11 （すい） 13:30 ～ 15:30	【じれい しょうかい】 うえの ちゅうがっこう こうしいとう ともえ さん がくしゅう しえん つうやくしゃ きくち クレオ さん 【きたかみし たんとう か からの ほうこく】 きょういくい いんかい きょういくぶ こそだて しえん かちょう ほさ たかはし けいこ さん	ワークショップ 「がいこくに つながる こどもの きょういくと その かだい」 いわて だいがく グローバル きょういく センター じゅん きょうじゅ まつおか ようこ さん	32 めい （うち ししょくいん: 7 めい） がいこくじん じょせい: 5 めい じょせい: 18 めい だんせい: 8 めい ちゅうがくせい: 1 めい	かんこく ちゅうごく たいわん フィリピン
さくてい いいんかい まとめ	12/9 （すい） 13:30 ～ 15:30	きたかみし そうごう けいかくの きほん もくひょうと たぶんかきょうせい ししん がいよう あん との せいごうせいに ついての けんとう	ワークショップ 「たぶんかきょうせい プランの せんしん じれいを さんこうに きたかみし そうごう けいかく、 きほん もくひょうの なかに たぶんか きょうせいの してんを もりこむ」	27 めい （うち ししょくいん: 7 めい） がいこくじん じょせい: 5 めい じょせい: 15 めい だんせい: 7 めい	かんこく ちゅうごく たいわん フィリピン

きたかみし　たぶんかきょうせいししん　さくていかいぎ　での　おもな　いけん（ばっすい）

テーマ	かいさいび	おもな　いけん（ばっすい）
テーマ① 『ごみ』	7/7 （か） 13:30 ～ 15:30	◇ ゴミは　その　くにぐにで　ことなるし、 モノの　たいせつさも　くにや　ひとに　よって　ことなる。 おなじ　こくないで　あっても、「ゴミ」 ひとつに　たいし　さまざまな　かちかんを　もって　いる　ことを　あらためて　じっかん　した。 ◇ となりに　がいこくじんが　すんで　いる　という　じょうたいが、 むかしと　ちがって　かのうせいの　あることに　なって　きて　いる　さっこん、 じぶんが　がいこくじん　という　ぎゃくの　たちば　から　みて「どのように　して　ちいきに　とけこんで　いくか」を　かんがえ　させられた。 ◇ かいがい　では「どのように　ゴミを　すてる　のか」 などと　かんがえた　ことが　なかった　ので、 しんせんな　きょうみを　もって　きく　ことが　できた。 ◇ みなの　かんがえが　とても　にていて、 コミュニケーションの　だいじさを　かんがえ　させられた。
テーマ② 『こうつう・かんこう』	8/24 （げつ） 13:30 ～ 15:30	◇ こうつうは、 きぎょう　だけ　でも　じちたい　だけ　でも　クリア　できる　もんだい　では　ない　ので、きょうどうで　5～10 ねんかん　けいぞく　して　とりくんで　いただきたい。 ◇ じゅうみんへの　たいおうが　できれば、 いちじてきな　がいこくじん　りょこうしゃへの　たいおうも　クリアできると　おもう。 ◇ さまざまな　ぶんかけんの　がいこくじん　かんこうきゃくへの　しゅうかん　などの　にんしき・りかい・ たいおうが　たいせつ　だと　おもった。 ◇ イヤホンガイドや、 スマートフォンを　かざすと　その　せつめいが　えられる　システムの　せっち・ どうにゅう。 ◇ ずめん・ イラストと　たげんご　による　ひょうじ。 ◇ ちいきの　こうほうしや　ポスター、 チラシ　などの　たげんごか。 ◇ じゅうみんと　がいこくじんが　いっしょに　なって　ちいきに　ついて　まなぶ　けんしゅうかいの　じっし。 ◇ SNS で　りよう　できる　アプリの　かいはつ（こうつうもう、 りょうきん　など）、 WiFi の　せいび。
テーマ③ 『ぼうさい』	9/15 （か） 13:30 ～ 15:30	◇ ひごろから　がいこくじん　めせんで　かんがえ、たげんご　たいおうの　じゅんびを　して　おく　ひつようが　ある　ことが　さいかくにん　できた。 ◇ ことばが　つうじない　ときの　きょうかんの　たいせつさを　あらためて　まなんだ。 ゆとりを　もって　あいてを　おもいやる　きもちが　どんな　とき　にも　たいせつ　だと　おもう。 ◇ じぶんの　くに　では　けいけん　したことが　ない　ので、 ぼうさいの　くんれんも　して　おきたい。（がいこくじん　さんかしゃの　いけん） ◇ ピクトグラムで　じょうほうを　つたえ　ようと　しても、 かっこくで　りかいの　しかたが　ことなる　ことを　しることが　できた。 かいがいの　ぶんかを　しる　ことが　せさくを　たてる　うえでの　だいいっぽ　だと　かんじた。 ◇ ふだん　いじょうに　おもいやりの　こころで　せっする　ことを　こころ　がける。 ◇ じぶんと　ちがう　たちばの　ひとが　いる　ことを　りかい　する。 ◇ わかり　やすい　にほんごを　つかう。 ◇ みため　では　ない、 よわい　たちばを　しる。

テーマ④ 『いりょう・ふくし』	10/14 （すい） 13:30 ～ 15:30	◇ がいこくじんが てんにゅう とどけを ていしゅつ する とき、 いりょうの しりょうの はいふや いりょう じょうほうを つたえる ほうが よいと おもう。 さらに その しりょうが たげんごか されて いれば、 りようしゃに とって べんり だと おもう。 ◇ びょうきや たいちょうの ふりょうの ときは、にほんじん でも こころぼそく なる ものだが、がいこくじんの かたがたの ばあいは より いっそう ふあんに かんじると おもう。 そういった がいこくじんの かたがたにも きちんと てを さしのべる ことの できる たいおうが ひつようだ とかんじた。 ◇ びょういんの りようや じゅしんに たいする がいこくじんの かんがえや、 にほんとの ちがいを きく ことが でき、 べんきょうに なった。 ◇ おもいこみや かんかくが じじつ から なる こじん しゅかん と すれば、 ほんしつを とらえようと する きゃっかんてきな しんじつを しる しせいを もちたい。 ◇ きたかみしにも きぎょうで はたらく がいこくの かたを みかける。 その かたがたに しあわせを かんじて いただける かんきょうづくりが しみん レベルで のぞまれる。
テーマ⑤ 『こそだて・きょういく』	11/11 （すい） 13:30 ～ 15:30	◇ がっこう きょういくの なかに、 ぜひとも たぶんか きょうせいを テーマに した きょういくを して ほしい。 ◇ こうしの「よみ・ かきは べんきょう しないと みに つかない」という ことば には、 じゅうだいな いみが あると かんじた。 みらい ある こどもたち には、 こくせきの うむに かかわらず、 びょうどうで ある べきだと おもう。 ◇ こどもの がんばる ちから、 それを サポート する まわりの おとなたち、 まさに さまざまな かくど からの れんけいが ひつよう であると まなんだ。 ◇ ことばの いみ だけ わかっても かんがえかたや しゅうかん などが ちがうので、 おたがいに りかい するのは むずかしいと おもった。 また、 にちじょう かいわが できても がくしゅうが できる わけではない という ことを しった。
さくてい いいんかい まとめ	12/9 （すい） 13:30 ～ 15:30	◇ まだ しみん レベルの いしきは ひくいと かんじるし、 しみんが しゅやくに なる ような ほうこうづけが ひつように なると おもう。 ◇ ふだん なにげなく くらして いたが、 この ような かいに さんかし、 こんご いろいろな ことに めを むけようと おもった。 ◇ じょうほうが ひつような ひとに とどく システムの こうちくが たいせつだ とおもう。 ◇ さまざまな ワークショップは、 いろいろな バリアを とり のぞく うえで せいかが あったと おもわれる。 ◇ ろうどうりょく ふそく など せつ なる もんだいも あるので、 がいこくの かたと じょうずに こうりゅう して いくことの たいせつさ が わかった。 ◇ まったく いしきを した ことの ない もんだいが ある ことが わかった。 がいこくじんに やさしい きたかみの まちづくり を きぼう。 ◇ がいこくじん めせんで、 きたかみしで くらす なかで ふべんな てんや かいぜん していける ところを かんがえると、 まだまだ にほんじんの できること・ やるべき ことは たくさん あると かんじた。 ねんれい・ しごと・ うまれた くに など、 みな ちがう ひと たちで いけんを だしあい はなし あうと、 それぞれが いろいろな かんがえを もって いる ことが わかり、 とても きちょうな たいけん だった。 ◇ たしの せんしん じれいの なかに よいものが あるので、 とりいれ られれば とおもう。 ◇ きょういくや ちいき かつどう、 がいこくせきで あっても わけ へだての ない しゅうぎょうと、 たてわりでは とらえる ことの できない むずかしさを あらためて かんじた。 ◇ かく グループに がいこくじんを はいち しているのが よかった。

【岩手県内の大学生に対する多文化共生意識調査】

概要

平成27年 4月10日（金） 岩手医科大学歯学部学生 58名

平成27年 6月25日（木） 岩手大学農学部学生 31名

平成27年12月11日（金），18日（金） 岩手大学教育学部学生 10名

合計99名

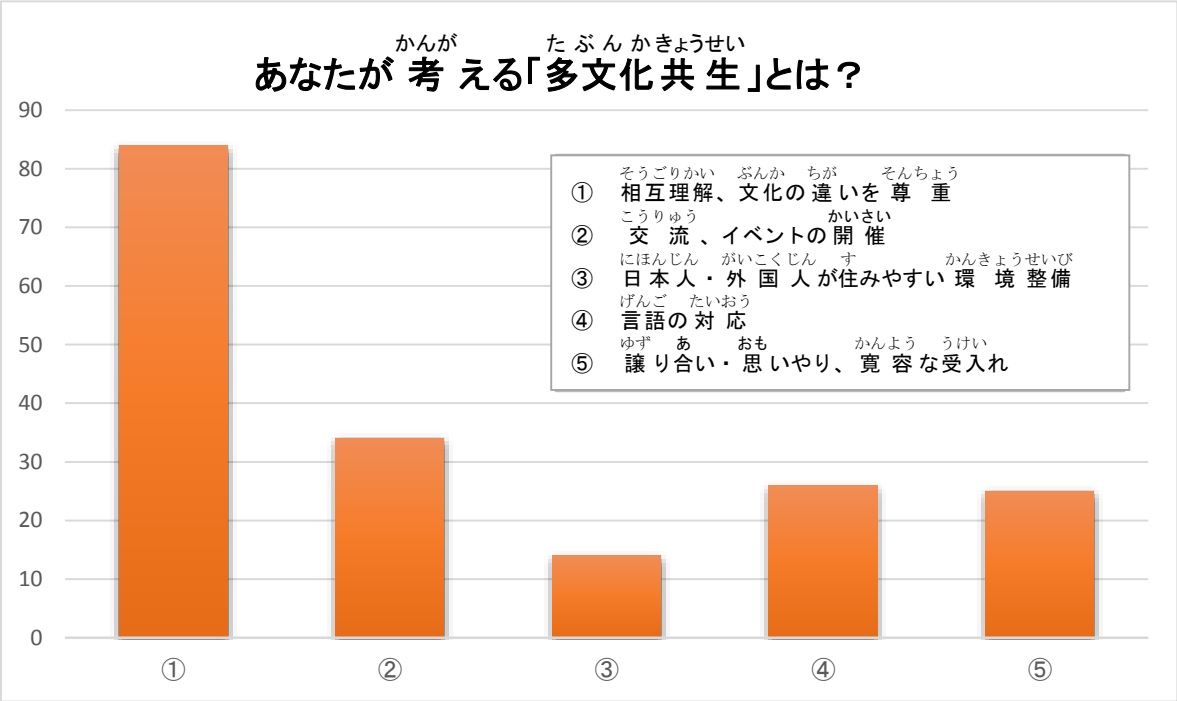
次世代を担う上記の学生を対象に、多文化共生の講義とワークショップを開催し、大学生の目線からの多文化共生意識に関する調査を行ったところ、道路標識、看板、ガイドマップ、メニューなどの多言語による表記が必要であり、同時に日本語講座も必要であるという声が多くありました。また日本人側の国際理解に対する意識向上や受け入れ態勢の必要性も重要であると捉えています。それぞれの文化を尊重し、思いやりの心を持って相互理解に努めていくことが多文化共生につながるとの共通認識を持つことができました。

大学生の意識調査

岩手医科大学歯学部 58名、岩手大学農学部 31名、教育学部 10名、計99名の回答より

Q1： あなたが考える「多文化共生」とは？（具体例とともに）

※複数回答あり



主な具体例として、①：文化、スポーツ、食べ物等の国際交流イベントへの参加。イベントを通して、お互いに知る・接する・交わる

②：施設案内、道路標識等の多言語表示、公共交通機関車内アナウンスの多言語化、メニューの多言語化、日本語教室、各国料理のレストランや食材売場が街にあるなど

③：文化などの違いを認め合う

④：英語を学ぶ

⑤：防災

また、上記歯学部の学生には、次の質問も行いました。

Q2：医療現場で考えられる国際交流・国際理解の場面を想定し、どのように対処し、何が必要なのか？

1. コミュニケーション能力、語学力の必要性
2. 専門的な医学用語のわかる通訳の必要性
3. 患者の出身国の医療や保険事情の情報収集と理解
4. 宗教による習慣等の理解、異文化理解
5. 治療に関する情報提供（日本の医療体制、薬、施術内容、痛みの程度の表現等）
6. 案内表示の多言語化

【外国人にやさしいまちづくり事業Ｖｅｒ．Ⅰ】

概要

本指針の策定に先立ち、平成25年度には「外国人にやさしいまちづくり事業Ver.Ⅰ」を行い、地域に住む外国人にとって住みやすいまちとはどのようなまちなのか「外国人住民会議」や「講演会」「外国人トーク」などを通してＡ４版80頁の小冊子にまとめました。

以下に小冊子からワークショップの様子とアンケートなどを紹介します。詳細は北上市国際交流ルームホームページから小冊子をダウンロードできますのでご覧ください。

URL http://www.k-iah.com/kiah/activity/fri

防災に関連するミッションにおいて、防災用品が入ったリュックの中の物を使用し、日本語とイラストだけの説明書を頼りに実際にお湯を沸かし、非常食（ピラフや炊き込みご飯）を食べてもらう。

フィリピン,中国,韓国,インドネシア出身で、ある程度日本語が理解できる人たちでも、防災用品の水からお湯を沸かし非常食を作ることに四苦八苦していた（作り方の説明は、日本語とイラストのみ）。しかし、英語を話すグループよりも作業が早く、出来た炊き込みご飯は美味だった。

英語を話すグループ（アメリカ、オーストラリア、チュニジア、インドネシア）も、イラストだけを頼りにお湯を沸かすミッションに挑戦。なんとかお湯を沸かし、ピラフを完成させた。

【アンケートしゅうけい】

『がいこくじんに　やさしいまちづくり　こうえんかい ＆ がいこくじん　トーク』

こうし：いわてだいがく　きょういくがくぶ　じゅんきょうじゅ　ジェイムズ・Ｍ・ホール し

かいさいにちじ：　2014/03/14（ど）　13：00～15：00

ばしょ：きたかみし　しょうがいがくしゅう　センター　だいいちがくしゅうしつ

しゅさい：オフィスキララ（きたかみし　こくさいこうりゅうルーム）

	かんそう	けんすう
ぜんたい	とても　おもしろかった。	1
	また　このような　イベントが　あれば　さんか　したい。	2
	とても　きょうみぶかい　はなしが　きけた。　とても　いぎ　ある　こうえんかい　だった。じゅうじつ　した　じかん　だった。	3
	がいこくの　ことに　ついて　しる　ことが　でき　たのしかった。	1
	もう　すこし　がいこくじんの　かたと　こうりゅう　したかった。	1
	たくさんの　がいこくじんの　あつまる　イベントの　さんかは　はじめて。　なれる　ことから　はじめたい。	1
	がいこくごが　できなくても、　コミュニケーションが　にがてでも、　せつめい　しようとする　きもちの　たいせつさや　ゆうきが　ひつようだと　おもった。　さんか　して　みて　なにか　もういっぽ　ふみだしたい。	2
	にほんに　すむ　がいこくじんに　とっても　すみやすい　かんきょうに　できたら　いい。	1
	にほんじんは　やさしくて　しんせつと　いわれて　いるが、　にほんごが　あまり わからない　がいこくじんに　とっては　にほんご　ばかりで　ふべんを　かんじる ばめんが　おおいと　かんじる。　ひょうじや　ひょうしき　などに　ついては　なにかの せつめいや　あんないが　ひつようと　おもうので　かいぜん　すべき。	1
	ちがう　ぶんか　だけでなく、　おなじ　ぶんかを　もつ　ひと　さえ　コミュニケーションが むずかしい　という　ことが　わかった。	1
	おはなしは　おもしろかったし、　にほんごが　よめない　がいこくじんとして　もんだいを かいけつ　する　という　ワークは　ひじょうに　たいせつな　もの　だった。	1
	こんどは、　にほんじんも　いっしょに　ミッションを　すれば　おもしろい　のでは ないか。	1
こうえんかい	かいがいに　いた　（すむ・　たいざい）　ときの　ことを　おもいだした。　いろいろ むずかしいことがあった。　とくに　かんかくの　ちがいなど。	2
	ホール　せんせいの　おはなしに　どうかん。　にほんに　きた　ばかりの　ことを おもいだした。　ぶんかの　ちがい、　ことばの　かべ　による　とまどい　など　たくさん あったが、　こまった　ことを　きけば　やさしく　おしえて　もらって　いる。これからも みんなと　なかよく　できればと　おもう。　じぶんも　にほんでは　よい　けいけんを して　いる。　にほんじんの　しんせつさが　きに　いって　いる。	2
	ホールせんせいの　けいけんも　おもしろい　もの　だった。	1
	ホールせんせいと　じぶんの　けいけんが　にた　ような　ものだと　わかり おもしろかった。	1
	ホールせんせいの　おはなし　から、　にほんに　くる　がいこくじんに　ちゅうごくじんや かんこくじんが　おおい　なかで、　いまの　にほんの　えいご　きょういくが　こくさいかの たっせいに　いみが　あるのか　ぎもんを　もった。　そして、　いままで　やらされる だけで　あった　えいご　きょういくの　ほんしつに　ついても　かんがえる　ことが できたのは　よかった。	1

	ホールせんせいが　きゅうけい　じかんに　きさくに　はなしかけて　くださったのが、とても　うれしかった。　こんごの　じぶんの　しんろに　ついても　アドバイスも いただいた。	1
	こうえんの　とうけいが　きょうみ　ぶかかった。	1
ワークショップ	わからない　ことは　じぜんに　インターネットで　けんさく　する　がいこくじんも いると　おもう。	
	じっさいの　ぼうさい　グッズを　つかった　ワークでは　きょうみも　わいて　より リアルに　かんがえる　ことが　できた。　いつ　じしんが　おきるか　わからない　ので、こんごの　せいかつに　やくだつ。　とても　よかった。　ぼうさい　グッズの　つかいかたは やくに　たった。	2
	ぼうさい　グッズの　ミッションも　おもしろかった。	1
	ぼうさい　グッズの　つかいかたは　やくに　たった。	1
	きょうは　ひを　つかわずに　おゆを　わかす　ほうほうや、　とうきょうや　よこはまへ いく　ほうほうを　しる　ことが　できた。	1
	きょうの　トークに　さんか　して　さらに　あんぜんで　かいてきに　にほんで　くらせる ように　なった。	1
	ひなんじょの　ばしょが　わかる　ための　ひょうじ　サンプルが　ひつよう。	1
	ひなんじょの　なかで　まもること　（ルール　や　マナー）が　わかると　いいと　おもう。	1
ほか	メモと　えんぴつが　あったら　よかった。	1
	にほんを　より　すみやすい　くにに　する　ための　ていあんを　せいふに　できれば いいと　おもう。	1

国際都市推進きたかみ市民会議会則

（名称）

第１条　この会は、国際都市推進きたかみ市民会議（以下「市民会議」という。）と称する。

（目的）

第２条　市民会議は、北上市が国籍や民族を問わず、誰にもやさしく、暮らしやすく、そして、訪れても快適な多文化共生の国際都市に成長していくため、地域の国際化推進方針を定め、市民や各種団体等が情報を共有・連携しながら、協働でその実現に向け活動を展開することを目的とする。

（事業）

第３条　市民会議は、前条の目的を達成するため次に掲げる事務及び事業を行う。

(1) 国際都市推進のための目標、方針及び計画を定め、推進する。

(2) 国際都市推進のための地域づくりについて普及及び啓発を行う。

(3) 国際都市推進のために行政関係、各種団体及び企業等への協力要請、連絡調整を行う。

(4) 国際都市推進のために北上市の歴史、文化や風土など、郷土理解を高める事業を推進する。

(5) その他国際都市推進に必要な事項を行う。

（組織）

第４条　市民会議は、目的に賛同する団体及び会長が指名した個人をもって組織する。

（事務局）

第５条　市民会議に事務局を置く。

２　事務局は、北上市国際交流ルーム内に置き、同ルーム及び北上市まちづくり部生涯学習文化課の職員をもって充てる。

（役員）

第６条　市民会議に次の役員を置く。

(1) 会長　１人

(2) 副会長　２人

(3) 常務理事　１人

(4) 理事　15人以内

(5) 監事　２人

２　会長及び副会長は、会議において選任する。

３　会長は、会務を掌理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

5　常務理事は、第９条第３項第１号の幹事長を務め、具体的な事業推進にあたる。

6　理事は、目的に賛同する団体及び会長が指名した個人で、会議の運営にあたる。

7　監事は、市民会議の出納を監査する。

（任期）

第７条　会長、副会長及び監事の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第８条　市民会議の会議は、第２条の目的を達成するための役員の選任、事業計画、予算決算等事業の推進について審議及び承認、その他の会務の重要事項を審議決定する。

2　会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

3　会議は、役員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4　会議の議決は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（幹事会）

第９条　市民会議に、第３条の事業を実施するため、幹事会を置く。

2　幹事会は、会長が指名した市民をもって組織する。

3　幹事会の事業の円滑な推進のため、次の役員を置く。

(1) 幹事長　　１人

(2) 副幹事長　２人

4　幹事長は、常務理事が務め、会務を運営する。

5　副幹事長は、幹事会において互選とし、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるとき又は幹事長が欠けたときは、その職務を代理する。

6　幹事は、市民会議の事業推進のため、計画的な企画、予算等を作成するなど、会の運営を担当する。

7　幹事会は、幹事長が招集し、幹事長がその議長となる。

8　幹事会は、事業推進のために会の連絡調整及び連携できる団体等への協力要請を行う。

9　幹事会は、多文化共生と多言語化の必要性について調査、研究を行うとともに、訪れる人のために、おもてなしの心の醸成のための普及及び啓発を行う。

10　幹事会は、会議で議決された事項以外の事業を実施する場合、会議に諮り承認を得た後、推進するものとする。

（部会）

第10条　市民会議に第９条で定める幹事会の補助組織として部会を置くことができる。

2　部会は、姉妹都市記念行事等、幹事会が特別に対応する必要があると判断する場合に設置することができるものとし、部会員は幹事長が指名した市民をもって組織する。

3　部会の事業の円滑な推進のため、次の役員を置く。

(1)　部会長　1人

(2)　副部会長　2人

4　副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会計）

第11条　市民会議の経費は、負担金、補助金、協賛金及びその他の収入をもって充てる。

2　市民会議の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

（補則）

第12条　この会則に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮り定める。

附　則

この会則は、平成25年8月26日から施行する。

この会則は、平成27年5月14日から施行する。（一部改正）

国際都市推進きたかみ市民会議 役員名簿

平成27年5月14日現在

市民会議役職	団体名	役職	代表者名
会長	北上市日中友好協会	会長	伊藤　彬
副会長	北上商工会議所	会頭	中村　好雄
副会長	(一社)北上観光コンベンション協会	会長	八重樫　守民
常務理事	NPO法人 きたかみ観光ネクスト	代表理事	佐藤　一郎
理事	北上市自治組織連絡協議会	会長	加藤　健悦 (藤根自治振興会)
理事	北上市地域婦人団体協議会	会長	菅野　路子
理事	(公社)北上青年会議所	理事長	菊池　勝
理事	NPO法人 フォルダ	理事長	司東　道雄
理事	クレイジーアカデミーネットワーク	会長	及川　政直
理事	(一社)北上市国際交流協会	代表理事	薄衣　景子
理事	北上市まちづくり部	部長	佐藤　秀城
監事	北上ユネスコ協会	会長	小笠原　味佐枝
監事	北上市体育協会	会長	及川　清人

北上市多文化共生指針策定会議　策定チーム　参加者名簿　（順不同）

相去地区交流センター		長井　洋子
相去地区交流センター		國井　深雪
相去地区交流センター		千田　渉
アジアマスターズ通訳ボランティア		八木　ゆかり
アジアマスターズ通訳ボランティア		石田　正憲
岩崎地区		千田　敏夫
岩崎地区　青年会　虹色の会“絆”	会長	小原　和弘
NPO法人きたかみ観光ネクスト		上田　斉子
NPO法人きたかみ観光ネクスト		田村　実凪
きたかみ子育てネット	代表	髙橋　夏江
きたかみ子育てネット		小澤　沙耶
北上市地域婦人団体協議会		菅野　路子
国際都市推進きたかみ市民会議	幹事長	佐藤　一郎
タウンラボ・きたかみ	会長	照井　征明
タウンラボ・きたかみ	副会長	佐藤　静次
Machibun Marche 実行委員会	代表	長谷川　真弓
外国人住民（中国）		菊池　紅
外国人住民（中国）		浅田　愛子
外国人住民（韓国）		方　恵新
外国人住民（韓国）		朴　宣姫
外国人住民（韓国）		朴　南伊
外国人住民（台湾）		玉城　慶惠
外国人住民（台湾）		前原　ゆう
外国人住民（アメリカ）		チャド・ルイス

外国人住民（フィリピン）	菊池　クレオ
外国人住民家族（スイス）	ミヒェル　和子
北上市　企画部政策企画課	高橋　剛
北上市　まちづくり部地域づくり課	峰　正樹
北上市　生活環境部市民課	髙橋　綾恵
北上市　生活環境部クリーン推進課	及川　誉政
北上市　保健福祉部健康増進課	佐藤　香賀里
北上市　商工部商業観光課	及川　勝彦
北上市　商工部工業振興課	菅原　真紀子
北上市　商工部工業振興課	菅原　裕貴
北上市　消防防災部消防防災課	金子　幸弘
北上市　教育部学校教育課	新井野　邦夫
北上市　教育部子育て支援課	高橋　景子
北上市　まちづくり部生涯学習文化課	八重樫　信治
北上市　まちづくり部生涯学習文化課	金田　仁
（一社）北上市国際交流協会	薄衣　景子
（一社）北上市国際交流協会	石井　斎明
（一社）北上市国際交流協会	斎藤　理加
（一社）北上市国際交流協会	青山　純子
（一社）北上市国際交流協会	及川　政直
（一社）北上市国際交流協会	大隈　聡子
（一社）北上市国際交流協会	小田島　久美子
（一社）北上市国際交流協会	清水上　裕
（一社）北上市国際交流協会	髙橋　美香
（一社）北上市国際交流協会	八重樫　恵美

北上市多文化共生指針に関するお問い合わせ

北上市まちづくり部生涯学習文化課
〒024-0061　岩手県北上市大通り一丁目３番１号
電話　0197-72-8303（直通）

Ｅメール　shogai@city.kitakami.iwate.jp

ホームページ　http://www.city.kitakami.iwate.jp/